

**授業概要**

双子・分身・多重人格にかかわる文学研究

英米の小説の傑作を翻訳などを使い「読み」、分析し、理解する。またそれに関するテーマの映画なども併せて議論してゆく。活字離れが進む現代、視聴覚教材を活用し、「読む」という行為と概念をさらに拡大した新たな授業を行いたい。読むということは何も活字だけを読むことには、限らない。視覚的なイメージを解読するということも、また「読む」という行為である。

**授業計画**

第1回	導入・・・双子・分身・多重人格の文化史
第2回	ポオ「ウィリアム・ウィルソン」を読む
第3回	ハーマン・メルヴィル「書記官バートルビー」を読む
第4回	スティーヴンソン『ジキル博士とハイド氏』を読む
第5回	ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』を読む
第6回	自分の知らない自分・・・無意識の発見、フロイト、ヒステリー
第7回	多重人格とノン・フィクション・・・ダニエル・キイス『24人のビリー・ミリガン』、『イブの三つの顔』を読む
第8回	スティーヴン・キングの分身小説（1）・・・『ミザリー』を読む
第9回	スティーヴン・キングの分身小説（2）・・・『ダーク・ハーフ』『秘密の窓、秘密の庭』を読む
第10回	シャム双生児とは何か・・・『運命の双子』を読む
第11回	クローンの文化史・・・ケン・フォレストの『第三双生児』『シックス・ディ』『ツインズ』『アイランド』を読む
第12回	推理小説と多重人格・・・横溝正史『悪霊島』京極夏彦『姑獲鳥の夏』を読む
第13回	現代における多重人格・・・解離性障害を追う
第14回	現在における自分探し・・・本当の自分とは存在するか
第15回	総まとめ 文学における分身とは何か

**履修上の注意**

言うまでもなく授業中の私語、睡眠は許されない。マナーを尊重して楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと。

**評価方法**

レポートと授業中の発表およびコメント、出席などの総合評価

**テキスト**

別に指定する